

## 薬師如来立像・日光菩薩立像・月光菩薩立像・十二神将立像



薬師如来立像  
右 日光菩薩立像  
左 月光菩薩立像

よみ やくしによらいりゅうぞう・  
にっこうぼさつりゅうぞう・  
がっこうぼさつりゅうぞう・  
じゅうにしんしょうりゅうぞう

指定 市指定有形文化財  
種別 彫刻  
数量 薬師如来立像 1躯  
日光菩薩立像 1躯  
月光菩薩立像 1躯  
十二神将立像 12躯

所在地 御前崎市白羽  
所有者 紅雲寺  
指定日 昭和49年9月19日



十二神将立像(右6躯)



十二神将立像(左6躯)

### 詳細情報

材質 木造

### 解説

白羽の新神子区の紅雲寺に安置されている本尊の薬師如来立像と脇侍の日光・月光菩薩立像、眷属の十二神将立像は木造で、薬師如来立像・日光菩薩・月光菩薩は秘仏として知られ、大医王仏とも呼ばれ現世・来世の福德を願うものとし、昔は祈願者が列をなし、門前市をなすほどにぎわったといわれています。

寺院仏道明細帳によれば「本尊薬師如来は丈二尺で空海の作といわれ、堂領三十石を有していた。元龜三年武田氏の兵乱にあい、堂寺が破壊されたが、家康公浜松城在城のとき、上村で出羽守が祈念の為六間四面の御堂及び十二神将を造立した」と記されています。